

News Release (3)



【平成 29 年 7 月 20 日 (木) 午後 2 時発表】

▼文化博物館夏の展示会「小出文庫」「戦争と子どもたち」を開催します

■概 要

文化博物館では、今夏 2 つの展示会（企画展・特集展）を開催します。

企画展では、本年 4 月に南丹市指定文化財（書籍類および典籍類）に登録された小出文庫の概要や文庫を構成する書籍を紹介。

特集展では、戦争の記憶を後世に伝えるために、毎夏開催してきた戦争展を引き続き開催。今年は戦時中の子どもたちの暮らしに焦点をあて、平和の尊さについて考えます。

- 日 時 平成 29 年 7 月 22 日 (土)～9 月 18 日 (日)
午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分)
※休館日：毎週月曜日
※9 月 18 日 (月) は開館しません。

- 場 所 南丹市立文化博物館

- 入館料 大人 300 円、学生 200 円、小人 100 円
(20 名以上の団体は 2 割引、各種手帳所持の方は半額。南丹市内在住の小中学生は無料。)

▼この記事に関するお問い合わせ

南丹市立文化博物館 (担当：井尻 0771-68-0081)

企画展

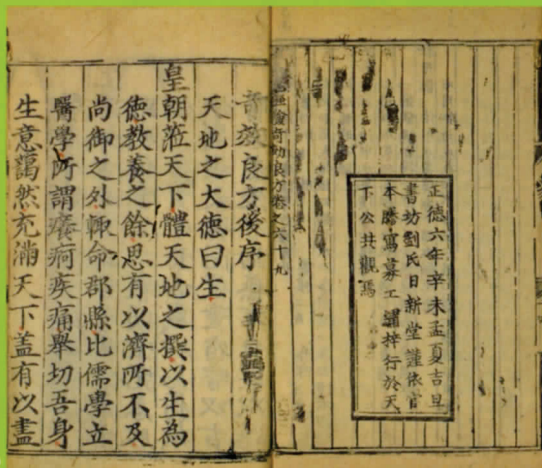
小出文庫

平成29年度
夏季
展示会

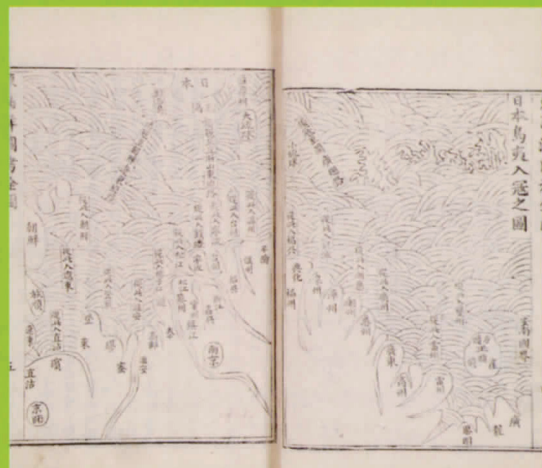
戦争と南丹市

特集展

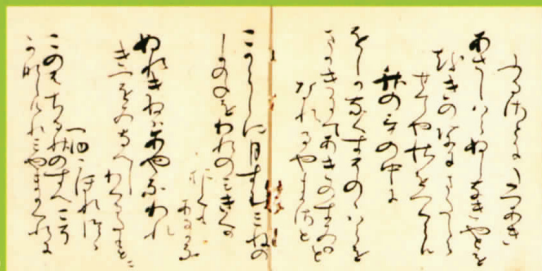
—戦争と子どもたち—



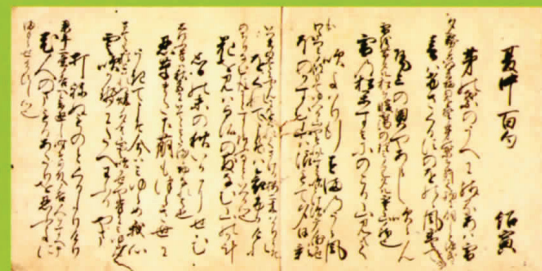
1



2



3



4



5



6



7



8

2017年7月22日[土]～9月18日[月]

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし9月18日は開館）

入館料：大人300円／高・大学生200円／小・中学生100円

※20名以上の団体は2割引、南丹市内在住の小中学生は無料

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳を持つ方とその介護者は入館料半額

南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町63番地

TEL.0771(68)0081 / FAX.0771(63)2983

①奇効良方大全（当館蔵） ②東西洋考（当館蔵） ③寂然集（当館蔵） ④夏中百句（当館蔵） ⑤大堰川での集合写真（南丹市立殿田小学校提供） ⑥戦争劇（南丹市立八木東小学校提供） ⑦諦称寺寮の畑での集合写真（当館蔵） ⑧銃後の家族写真（南丹市蔵）



◆自動車…京都縦貫自動車道「園部IC」もしくは「八木西IC」より約5分（駐車場は園部公園駐車場をご利用ください） ◆電車・バス…JR園部駅下車、駅西口より①京阪京都交通バス40系統八田線、44系統園部線で「交流会館前」下車すぐ ②ぐるりんバス20系統・30系統で「図書館前」下車すぐ ※①②どちらのバスでもお越しいただけます

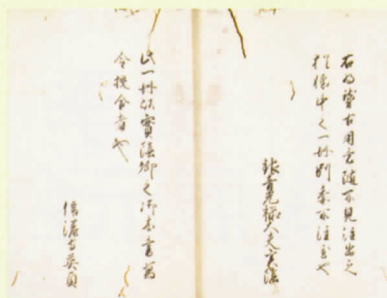
小出文庫は、園部藩主小出氏の蔵書や藩校で使用されたと伝わる書籍群の総称です。和書や漢籍の書物が多数あり、なかには藩主の自筆本も含まれます。これらの書籍は廃藩後、明治期の小学校長を歴任した上野盤山が管理をしていましたが、大正年間に有志者らにより文庫設立の機運が高まり、同4年（1915）には、小出文庫と盤山の蔵書を中心とした園部図書館が開館します。

園部図書館は、社会教育の振興を図るため、園部尋常高等小学校の校地に開設されますが、その後、蔵書は小学校附属図書館や園部町立図書館へと引き継がれました。そのため、現在ではそれらの図書館蔵書も含まれて伝存していますが、園部藩はもとより、当地域における教育史の一端がうかがえる貴重な資料群といえます。

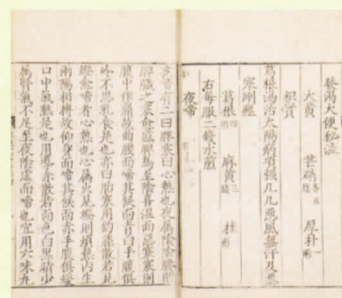
このような小出文庫が、平成29年4月に南丹市指定文化財（書籍類及び典籍類）に登録されました。今回の展示会ではこれを記念し、小出文庫の概要や文庫を構成する書籍について紹介いたします。さまざまな展示品を通して、小出文庫についてご理解を深めていただく機会となれば幸いです。



小出文庫（当館蔵）



詠歌一休抜書（当館蔵）



保嬰全書（当館蔵）

企画展 小出文庫

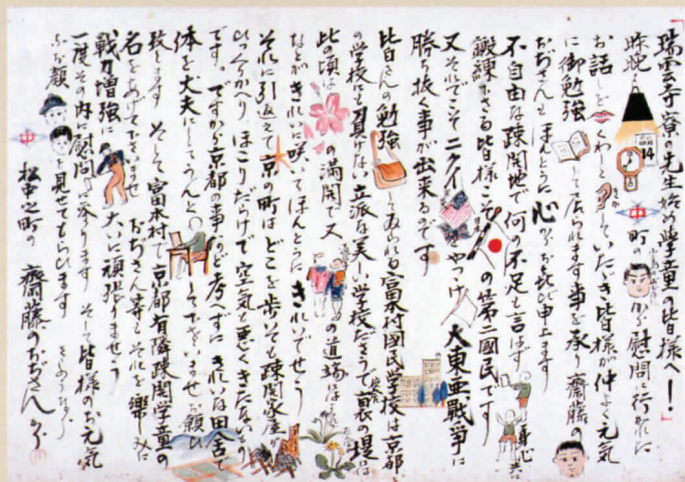
—戦争と子どもたち—

特集展 戦争と南丹市

戦争は戦地で戦った兵士だけでなく、故郷に残された人々もこれを支えました。特に戦争が激しくなると、男女年齢を問わずこの戦争に巻き込まれていくことになりました。

戦時中に育った子どもたちは、学童疎開・学徒動員・軍事教練などこれまで体験したことのないような日々を過ごすことになりました。また、戦地に赴いた父親や親族を亡くし、顔を見た記憶すらなく成長した子どもたちも多くいました。

本展は、こうした子どもたちが生きてきた時代にスポットをあてます。日本が戦争を行っていた時代を、戦争体験のない私たちがたやすく想像するのは難しいことですが、写真や手紙、おもちゃ、学校日誌など残された資料から当時を振り返ります。この展示会が、平和について考える一歩になれば幸いです。



斎藤おじさんからの絵手紙（京都市学校歴史博物館蔵）



子ども用着物（個人蔵）



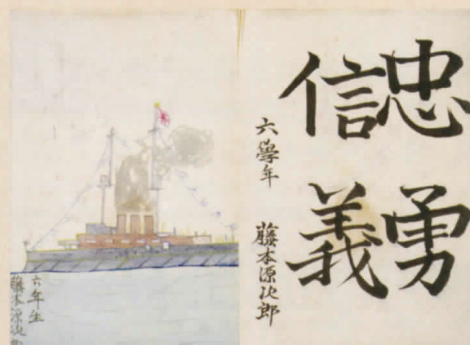
戦車（当館蔵）



子ども用茶碗・兵隊（当館蔵）



子ども用茶碗・航空機（当館蔵）



子どもの描いた絵（当館保管）